

にのみや学園通信

R5.8.30

第4号

にのみや学園小学校英語教育研修会

8月29日(火)、二宮町町民センターにて、にのみや学園小学校英語教育研修会を開催しました。直山木綿子さん(文部科学省初等中等教育局教育課程課視学官)にご講演いただきました。小学校の教員と中学校の英語科の教員、約60名が参加しました。

外国語の授業づくりについて、わたしたち教員が意識すべきこと、取り組むべき方向性を学ぶことができました。いくつか印象に残った言葉を紹介합니다。



「目的・場面・状況を適切に設定すれば、子どもの言葉がかわる」

子どもたちは、本気になれるシチュエーション、誰かに伝えたいくなる場面や状況があると、ふさわしい言葉を紡ぎだすために思考します。そして、先生や仲間からの助言を取り入れながら、子どもたちの英語表現(言葉)はどんどん変容していきます。その変容は、子どもたちの大きな成長です。子どもたちの英語力とこうした言語活動の相関性の高さは、データでも明らかになっています。子どもたちが自分事としてかかわっていけるような言語活動を取り入れながら指導することを引き続き大事にしていきたいです。

「教員が子どもたちに身につけさせたい資質・能力を明確にし、ビジョンをもって指導する」

授業を展開していく上で、教員が子どもに身につけさせたい資質・能力を明確にし、ビジョンをもって指導していくことが重要です。小学校卒業までに、中学校卒業までに、それぞれどんな資質・能力を身につけさせたいのか、学園全体で改めて共通理解を図っていきたいです。教員が明確なビジョンを持っているからこそ、授業における教員の言葉がけも変わっていくと思います。

直山先生のお話から改めて「目的意識」「ビジョン」の重要性を感じました。これは、外国語に限ったことではありません。あらゆる教育活動において「何のために」という思考や育てたい資質・能力を踏まえた指導を大事にしていきたいです。

また、外国語の話ではありませんが、直山先生は、講演中に「**二宮町の教員は、ほんま仲がようて、雰囲気さえなあ(京都弁)**」とおっしゃっていました。他にも、「**一体感**」「**ワンチーム**」「**数十人で声が揃うことの素晴らしさ**」等、二宮町の教職員のチームワークの良さについて言及されていました。普段、二宮町内で働いていると、なかなかこうした良さに気づくことはできませんが、外部の人から見て客観的にそう見えるのであれば、大変喜ばしいことです(もちろん、リップサービスは含まれているとは思いますが)。学校は離れていますが、にのみや学園の教職員として、同じ方向を向いて、子どもたちの育ちを支えていくことを目指して様々な取り組みを進めてきていることの成果が表れているのかもしれませんが、二宮町の強みとして捉え、これからも小中一貫教育目標「認め合い、高め合う、二宮の子」の実現を目指して、5校で仲良く歩みを進めていきたいと考えています。

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>



にのみや学園通信

R5.10.24

第6号

9年間の学びのつながりを可視化するカリキュラム研究



にのみや学園では、現在、学園内の小・中学校の教員が14の教科・領域等に分かれて9年間を見通したカリキュラム研究に取り組んでいます。学習内容の系統性を深く理解することで、既習を踏まえた指導、先を見通した指導の充実を図っています。また、小・中学校の教員による協働的な取り組みは、異校種間の相互理解を深め、「にのみや学園」としてのマインドセットを図る機会にもなっています。

10月17日(火)、山西小学校にて図画工作科のカリキュラム研究授業を行いました。内容は、次の通りです。

対象:2年生 内容:めざせカッターナイフ名人 目標:カッターナイフの使い方の基礎を習得する。

2年生の子どもたちにとってカッターナイフとの出会いの授業。学級担任によるきめ細かい指導により、子どもたちはカッターナイフの特性や正しく安全に使う方法を理解しました。そして、いよいよ実践。「え～難しい!」「まっすぐ切れた!」「はさみよりきれい!」子どもたちは、学級担任や参観していた他の小・中学校の先生方のアドバイスを受けながら、上手に使うためのコツを掴もうと試行錯誤していました。

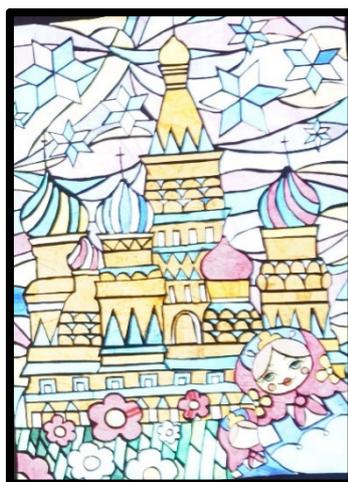


10月13日(金)、14日(土)に二宮西中学校、二宮中学校の文化祭を見学してきました。中学生がカッターナイフを使って制作した切り絵やステンドグラスが窓に飾られており、思わず足を止めて見入ってしまうほどの美しさでした。二宮町における9年間の学びを見通した場合、カッターナイフを使った学びの最終ゴールが、中学校の切り絵やステンドグラスづくりであるならば、その出発点が今回の授業になるのでしょうか。小学校でカッターを使う授業を行う際には、「中学生になると、こんなにも素晴らしい作品を作れるようになるんだよ!」と紹介することで、子どもたち自身が学びのつながりを自覚し、中学生への憧れ、モチベーションの向上になっていくのではないかと感じました。にのみや学園の9年間を貫く学びが可視化できる素晴らしい授業提案でした。



山西小学校2年生

2年生の今回の作品は練習。カッターナイフを使った本作品の完成が楽しみです!



二宮中学校



二宮西中学校

二宮中学校 <https://ninomiya-junior-high-school.edumap.jp/>

二宮西中学校 <https://ninomiyanshipi-junior-high-school.edumap.jp/>

HPには、素晴らしい作品が数多く掲載されています!

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>



にのみや学園通信

二宮町教育支援室「やまびこ」

全国的に不登校の児童生徒が増加傾向にある中、子どもたちの居場所づくり、学びの保障が求められています。二宮町にも、様々な理由で学校に登校できない子どもたちが、社会的自立を目標とし、自分のペースでゆっくりと学びを進めることができる教室「やまびこ」があります。「やまびこ」のパンフレットについては、にのみや学園内の各校に配架されている他、ホームページにも掲載されておりますが、具体的な活動内容について通信にて紹介します。<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/cmsfiles/contents/0000000/936/yamabiko1.pdf>



〈やまびこの教室から見える景色〉

○「やまびこ」の紹介○

「やまびこ」では、一人ひとりの好きなことや得意なことを大切に教育活動を計画します。通室する曜日や時間、学習内容などは、学校や教育相談心理士等と相談しながら、それぞれに合ったペースで進めます。

教室の様子 居心地の良い環境づくりを心がけています。

〈個別学習スペース〉



学習は基本的には自主学習です。静かな環境の中で取り組むことができます。

〈小集団活動スペース〉



小集団で、みんなが楽しく過ごせることを考えて活動します。(カードゲームや制作など。)

〈相談室〉



教育相談心理士や専任教諭と定期的に悩みなどについて相談できます。

やまびこについては、学校の先生にご相談ください。直接やまびこへお電話頂いても構いません。
(電話：0463-72-2883)



2023年度やまびこキャラクター
のピピとココ (通室生考案)

活動内容例 教室内の活動だけでなく、校外学習などもあります。

足柄ふれあいの村
での野外炊事



星槎学園さんでの農業体験



やまびこの花壇・畑



調理実習



東大果樹園跡地での焚火



通室生の素敵な作品の数々



感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

